

Broaden your horizons ⑦⑤ ~さあ、視野を広げて!~



こんにちは。メディセレのしゃっちょう、児島恵美子です。

皆さんはバレンタインデーにチョコレートが贈られたでしょうか? ホワイトデーにお返しをされたでしょうか? そもそも、チョコレートはお好きでしょうか? なぜ、こんなことをお尋ねするかというと、人様以上にお犬様の方がチョコレート好きだからです。何でも、一度チョコレートの味を覚えると病みつきになるそうです。そして、「チョコレート中毒」にかかることが少なくありません。この病気は、バレンタイン前後に多く発症します。盗み食いをしたり、飼い主が中毒になるとは知らずにおやつで与えてしまったり、失敗した(?) 手作りチョコを処分するために……。

原因物質は、カカオ豆に含まれる苦味成分のメチルキサンチン(テオブロミン&カフェイン)です。ヒトではチョコレートに含まれるぐらいの量なら何ともないのですが、イヌはメチルキサンチンの代謝速度が非常に遅いので、中毒を引き起こすのです。明治製菓などの一般的な板チョコが80gですので、含有量から計算しますと、体重3kgのイヌ(チワワ、トイプードルなど)だと57g、2/3を食べるだけでLD₅₀(50%致死量)になります。カカオ含有量が多いビターチョコになればなるほど、危険率がアップします。メチルキサンチンはご存じのように血管拡張作用、中枢神経刺激作用がありますので、中毒症状としては心不整脈や呼吸不全、発作を起こします。今年のバレンタイン翌日にも、獣医の友人のところに小学生の娘さんが手作りのチョコレート20gを食べたイヌを連れて来院したそうですが、幸い体重が7kgもあったのでセーフでした。一番危険なのがガトーショコラなどに使われている苦味の強いココアパウダー(カカオそのもの)で、3kgのイヌならたった4gでLD₅₀になります。ココアパウダー単体では苦いので、イヌも食べないと思いますが、甘いケーキなどに振りかけてあるものは気をつけてあげないと食べてしまいます。要注意です。

え? 私は大丈夫? と不安になる人がいらっしゃると思いますが、まずヒトではテオブロミンに1日当たり摂取許容量もなく、LD₅₀の設定もありません。そう、たくさん食べても大丈夫ってことです。安心されましたか? イヌを飼っていらっしゃる方はいくらかわいくても、チョコレートではなく、骨をあげて下さいね! あ、私にはチョコレートを!(笑)